

酒類・食品 & News 解說

令和7年11月14日(金曜日) 第3470号

〈昭和42年7月10日第3種郵便物認可〉

毎週金曜日 発行 編集発行人 石母田 健

購読料 6カ月 15,730円(税込み)

振替番号 東京4-71739

發行所 株式会社 日刊経済通信社

発行所 葵社 直営店舗
本社 / 東京都中央区日本橋小伝馬町10番11号 日本橋府川ビル

本社／東京都中央区日本橋小伝馬町10番11号 日本橋川越ビル
☎03(5847)6611(代) FAX 03(5847)6600

名古屋支局 052(253)6924 大阪支局 06(6353)1791

<http://www.nikkankeizai.co.jp/>

創業70周年記念特集号①

2020年代の酒類食品市場('20年～'25年)

ビール類市場は、26年10月に完結するビール類酒税二本化に向けた2度のビール減税（20年10月と23年10月）を経て、各社が注力するビールがじわりと販売量を増やしてきた。

ただその間、コロナ禍の影響で、業務用を中心�に大きな打撃を受け、現在もコロナ前の19年水準には完全には戻っていないのが実態だ。

2020年から25年の酒類市場は、酒税の増減税のほか、それぞれの種類に使用する原料価格の高騰などに伴い、価格改定・値上げが行われ、全体では数量減・金額微増の傾向にある。ただコロナ禍を経て、人流回復とともに、外食市場が復調、インバウンド観光客や大阪・関西万博の盛況ほか、明るい話題も多かった。が並んでいる。

一方、エコノミー・カタゴリー（発泡酒・旧新ジヤンル）は、2度にわたる旧新ジヤンルの増税で割安感が薄れ、より安価なRTDとの併飲、消費の移行が進み、厳しさを増している。

具体的な販売数量推移（国産大手4社の前年比）は、コロナ禍で飲食店需要に壊滅的打撃を受けた20年のビールが78%、21年99%、飲食店需要の回復が本格的となつた22年114%、23年107%、24年105%で、25年1~9月は99%と、ややペースが落ちている。他方、エコノミーは20年102%、21年92%、22年94%、23年92%、24年90%、

25年1～9月92%と、一貫して減少している。また、3カテゴリー計は、同順で91%、95%、103%、99%、97%、96%と漸減状態にある。

26年10月には3度目のビール減税と、エコノミーの増税により、酒税の一本化が完結するが、その後もビールとエコノミーの価格差はある程度残るため、今後は規格変更を含め、新しい価格体系構築への検討が進められていくことになる。

年は21年から長を達成。22年は14年連続伸長を達成。22年は21年から続く家飲み需要を一巡による裏返しや、業務用回復に伴う家庭用飲用の減少、当時の減少、当時からけん引してきたレモンサワーの鈍化などにより微

RTD
R T D 市場は毎年堅調に
25年で2ケタ伸長見込
込む

小麦粉	9面
製パン	9面
プレミックス	9面
即席麵	9面
パスタ	9面
ワインニユース①	13面
(サントリリー)	9面
歳暮ギフト特集②	15面
(嗜好飲料)	17面
トリー、未来のカクテル	17面
「キリン氷結motta」	18面
「キリン」午後のmottai」	19面
原料商品情報	10面
創業70周年	11面
「あいさつ	3面
面	面

主な内容

2020年代の酒類食品市場

An advertisement for Kirin Beer. On the left, a yellow can of 'KIRIN'S PRIME BREW' is shown, featuring a black and white illustration of a leaping deer. The text 'KIRIN'S PRIME BREW' is at the top, and 'KIRIN BEER' is in the center. On the right, a glass of light-colored beer with a head of foam is shown. The glass has the text 'KIRIN' and '一番搾り' (Ichi-ban shuzori) on it. The background is white, and the overall design is clean and modern.

よろこびがつなぐ世界へ

KIRIN

ストップ! 20歳未満飲酒・飲酒運転 お酒は適度に適量で 妊娠中・授乳期の飲酒はやめましょう のんだあとはリサイクル

丸ハビール株式会社